

令和6年度の子育て応援プラン事業等一覧(予定)

※国制度に基づき全国一律で実施される事業を含む

項目	事業概要	事業費 (人件費を除く)
① 妊娠・出産、医療・健診等にかかわる事業		
1 <<新規:R5補正~>> 不妊治療費等助成	医療保険適用外の不妊治療(先進医療)費用等を助成	208 万円
2 妊婦健診助成	妊婦健診費用を助成	3,076 万円
3 <<新規>> 妊娠・出産包括支援	・心身不調、孤立感、育児不安等に関する訪問対応も含めた交流・個別相談支援 ・産婦健康診査に要する費用を助成	402 万円
4 初回産科受診料助成	低所得の妊婦の経済的負担を軽減するため初回の産科受診費用を助成	2 万円
5 入院助産(出産費用の助成)	経済的な理由がある場合に入院出産に要する費用を助成	82 万円
6 未熟児養育医療助成	発育が未熟で入院養育が必要な乳児にかかわる医療費を助成	487 万円
7 新生児聴覚検査助成	出産直後に実施する新生児聴覚検査費用を助成	203 万円
8 産前産後ヘルパー派遣	産前産後の体調不良等により家事や育児が困難であり、援助する家族等がない場合にヘルパーを派遣	1 万円
9 <<新規>> 1ヶ月児健康診査費用助成	1か月児に対する健康診査費用を助成 ※その他集団検診として本市は「4ヵ月児健診」「1歳6ヵ月児健診」「3歳児健診」を実施	148 万円
10 5歳児相談	小学校就学に向けた発育・発達や生活習慣の確認、育児相談などを実施	2 万円
11 こどもの歯科衛生推進	フッ素塗布、フッ化物洗口の推進 ※フッ素塗布は保健センター、フッ化物洗口は保育所・幼稚園・小学校・中学校等で実施	267 万円
12 <<拡充>> こども医療助成	こどもの医療費を助成し、疾病の早期発見・治療を促進 ※R6.8月利用分から所得制限を廃止し、対象を高校生まで拡大(現在は中学生まで)	1 億 2,358 万円
13 ひとり親家庭等医療費助成	ひとり親家庭等のこどもの医療費を助成し、疾病の早期発見・治療を促進	1,981 万円
14 こどもの予防接種等	予防接種法に基づく各種定期接種(ロタウイルス、麻しん風しん、日本脳炎など)	1 億 1,064 万円
15 小児救急医療支援	休日・土曜日・夜間における小児救急医療体制の確保	1,384 万円
② 給付金・手当等にかかわる事業		
16 出産・子育て応援給付金	・相談支援 妊娠時から出産・子育てまでの伴走型相談支援 ・経済的支援 妊娠期・出産後にそれぞれ5万円相当の電子マネー等を給付	4,267 万円
17 <<拡充>> 児童手当	児童の養育に伴う家計負担の軽減 ※R6.10月分(12月支給)から所得制限の廃止、対象を高校生まで拡大(現在は中学生まで)、第3子以降の支給金額を増額など	9 億 7,381 万円
18 <<拡充>> 児童扶養手当	ひとり親家庭等における児童の養育に伴う家計負担の軽減 ※R6.11月分(1月支給)から第3子加算額の引き上げ、所得制限限度額の引き上げなど	3 億 1,181 万円
19 <<新規:R5補正>> ※単年度事業 低所得世帯支援給付金(こども加算)	物価高騰の影響を大きく受ける低所得の子育て世帯への支援 ※H17.4.2以降生まれの児童1人あたり5万円を給付	5,520 万円
20 結婚・出産新生活応援助成	結婚や出産を契機に市内へ転居する世帯への家賃等を助成 ※対象要件:世帯所得500万円未満 ※助成上限額:6万円~60万円	1,341 万円
21 自立支援教育訓練給付金	ひとり親家庭の親の資格取得や教育訓練講座の受講費用を助成	7 万円
22 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	ひとり親家庭の親または子が、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す場合に必要となる対策講座の受講費用を助成	8 万円
③ 保育所・幼稚園等にかかわる事業		
23 幼児教育・保育無償化	【保育所・幼稚園等通常教育・保育】 ・0~2歳児のうち市民税非課税世帯等は保育料無償 ・3~5歳児は所得にかかわらず保育料無償	—
	【幼稚園等一時預かり、認可外保育所】 ・同上 ※本市が保育認定した場合に限る	2,339 万円

項目	事業概要	事業費 (人件費を除く)
24 《拡充》 保育料の軽減	国基準保育料(0～2歳児)からの軽減 ※新たにR5保育料から10%軽減	歳入 △ 2,750 万円 775 万円
25 《拡充》 多子世帯の保育料軽減	第2子以降(0～2歳児)の保育料を軽減 ※新たに年収640万円以上の世帯について、第2子半額、第3子以降無料(第1子は高校3年生まで) ※一般利用可能な認可外保育所等も対象	歳入 △ 2,244 万円 1,209 万円
26 幼稚園・保育所等運営費負担金等	幼稚園・保育所等の運営費等を給付 ※幼稚園8施設、保育所9施設、認定こども園4施設、小規模保育事業所1施設	18 億 3,110 万円
27 特別保育	延長保育、体調不良児対応保育、一時預かり事業の実施	7,437 万円
28 私立保育所整備費助成	楽山保育園移転整備にかかわる旧保育園解体助成 ※新施設はR6.4に旧知利別小学校跡地に開設	383 万円
<<新規>> 29 保育士・幼稚園教諭奨学金返済支援	保育士・幼稚園教諭を対象とした奨学金返済支援 ※助成額:上限額 月2万円(年間24万円) ※助成期間:最大5年間(雇用開始後5年以内)	378 万円
30 保育士・幼稚園教諭等の人材バンク	潜在保育士・幼稚園教諭等の情報をバンク登録し人材の確保を図る ※西いぶり6市町で情報共通	30 万円
31 子育て支援員研修会の開催	幼稚園・保育所等で補助業務を行う子育て支援員の養成講座を開催 ※西いぶり6市町で共同開催	160 万円
32 保育補助者雇上強化助成	保育士の負担軽減を図るため保育補助者の雇い上げに必要な経費を助成	1,847 万円
33 保育体制強化助成	保育士の負担軽減を図るため消毒・清掃などの周辺業務を行う保育支援者の配置に必要な経費を助成	2,034 万円
34 《新規》 保育所等冷房設備設置助成	保育所・認定こども園における冷房設備設置費用を助成	926 万円
35 認可外保育施設等助成	認可外保育施設の健康管理にかかわる経費への助成	13 万円
④ 小中学校・その他教育にかかわる事業		
36 要保護・準要保護就学扶助	経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し学用品費・給食費・医療費等を助成	6,502 万円
37 <<新規:R5補正～>> 学校給食費の多子軽減	第3子以降の学校給食費無償化(第1子は高校3年生まで) ※R5.10月分から	歳入 △ 1,741 万円
38 外国語教育推進	外国語指導助手(ALT)を配置し外国語教育を推進 ※5名配置	—
39 <<新規:R5補正～>> 英語検定支援	英語検定費用の一部を助成 ※助成額:検定料の1/2(年度内に1回)	140 万円
40 生活困窮者学習支援	生活困窮世帯の中学生を対象に学生等のボランティアが学習を支援	325 万円
41 《新規》 ひとり親家庭等学習支援給付金	低所得のひとり親世帯等の中学校3年生が高校受験のための模擬試験を受ける際の費用を助成 ※助成額:上限 6,000円(年度内に1回)	2 万円
42 《新規》 「室蘭ふるさと学習」推進	地域の人々や自然、産業に触れ合い、様々な体験活動を通じ、ふるさと室蘭への愛着を育む ※小学校 1・2・4・6年生の校外学習を拡充	1,214 万円
43 《新規》 児童・生徒芸術鑑賞	小中学生向けに舞台等の芸術鑑賞事業を開催 ※劇団等が学校を訪問(全学年が鑑賞)	141 万円
44 アスリートから学ぶ未来事業	子どもたちがスポーツ選手や指導者等の経験や技術に触れられる機会を創出	98 万円
45 《拡充》 ノックスビル市中学生派遣費補助金	姉妹都市との交流等を通じ、子ども達が国際理解を深める機会を創出 ※保護者負担金の見直し 旅行代金の3割⇒2割(上限 10万円) [就学援助対象者は1/2軽減]	777 万円
46 ネーチャー・ウォッチング事業	イルカ・クジラウォッチングを通じ、子育て世代の親子が本市の貴重な自然環境に親しむ機会を創出	110 万円
47 《新規》 キャリア教育推進	子ども・若者の職業観・能力を育成し、室蘭で働く・将来的に室蘭に関係性を持つ「ひとづくり」を推進 ※R6は 官民連携による「(仮称)ひとづくり戦略検討部会」を設置し、推進セミナーを開催	52 万円

項目	事業概要	事業費 (人件費を除く)
48 《新規》 中学校文化系部活動大会派遣費補助	中学校文化系部活動の大会出場にかかわる宿泊費・交通費を助成	192 万円
49 《新規》 部活動の地域移行(拠点校部活動)	部員数が少ない団体スポーツ等について(在籍校に部活動がない場合を含む)休日の拠点校部活動を実施 ※R6:サッカー部	25 万円
50 《拡充》 スクールカウンセラー派遣	市独自にスクールカウンセラーの派遣時間を拡大	—
51 いじめ・不登校対策	適応指導教室の設置など	132 万円
52 <<新規:R5補正~>> 小中学校冷房設備設置	小中学校における冷房設備設置	0 万円
53 白鳥台地区義務教育学校整備	白蘭小学校と本室蘭中学校を統合し、「白蘭学園」を開設 ※R6:校舎改修、備品購入、引越し、閉校式典等(校舎改修はR5補正) ※R7:4月開設予定	477 万円
54 私立学校教育振興費補助金	各私立学校の特色のある取組を支援するため3校に助成	1,600 万円
⑤ 放課後児童対策にかかわる事業		
55 《拡充》 スクール児童館運営	スクール児童館を各小学校で開設 ・R6から7:30~8:00の延長開設 ・R6からICT化の本格稼働、クラス数拡大(R5改修による) ・R5.9から利用料を無償化	1 億 8,857 万円
56 スクール児童館専用送迎車両運行	土曜日・長期休業期間中の自由来館専用送迎タクシーの運行	81 万円
57 放課後児童支援員等処遇改善	放課後児童支援員の処遇改善のための助成 ※保育所・幼稚園等職員は給付費に含む	1,267 万円
58 《新規》 スクール児童館冷房設備設置	スクール児童館における冷房設備設置	1,740 万円
⑥ 障がい児にかかわる事業		
59 特別児童扶養手当 ※申請受付等は市(支給は道)	障がいのある児童の福祉増進のため支給 ※20歳未満の児童1人あたり月額:1級55,350円、2級36,860円を保護者へ支給	—
60 障がい児福祉手当	障がいのある児童の福祉増進のため支給 ※20歳未満の児童1人あたり月額15,690円を児童へ支給	753 万円
61 補装具給付 ※事業費は障がい者分を含む	補装具(車椅子・座位保持椅子・頭部保持具・補聴器など)の購入・修理費用を助成	2,888 万円
62 軽度・中等度難聴児補聴器給付	補装具支給要件に該当しない軽度・中等度難聴児にかかわる補聴器の購入・修理費用を助成	20 万円
63 日常生活用具給付 ※事業費は障がい者分を含む	日常生活用具(ネブライザー(吸入器)、紙おむつ、ストーマ(蓄便・蓄尿)などの購入費用を助成	3,091 万円
64 育成医療助成	身体の障がいを除去・軽減するための医療費の一部を助成	63 万円
65 障がい児相談支援	通所サービス利用のマネジメント等を実施	1,356 万円
66 障がい児通所支援	・児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・保育所等訪問支援	2 億 217 万円
67 《新規》 子ども発達支援センター民営化	R6.4から社会福祉法人室蘭言泉学園が子ども発達支援センターを運営 ※サービス提供時間拡大、常勤看護師の配置など	—
68 支援ファイル「すてっぷ」の配布	こどもの心身の発達状況や支援内容を記載する支援ファイルの作成・配布	12 万円
69 日中一時支援	日中において監護する者がいない場合、施設において一時的な見守りなどの支援を行う	189 万円
70 ショートステイ (自立支援給付)	昼夜において監護する者がいない場合、施設において一時的な預かりなどの支援を行う	356 万円
71 保育所・幼稚園等における特別支援保育	特別な支援を行うための職員を加配した経費等を助成	7,348 万円
72 スクール児童館における特別支援員	特別な支援を行うための職員を加配	9,040 万円
73 特別支援教育就学奨励費・通学扶助費	特別支援教育を受ける児童生徒の保護者に対し、学用品・給食費・通学費等を助成	958 万円
74 特別支援教育支援員配置	特別支援学級のほか普通学級在籍の障がいのある児童生徒の支援を行う特別支援教育支援員を配置 ※43名配置	—
75 《拡充》 ことばの教室設置	「ことば」や「聞こえ」に問題を抱える児童等へ支援・指導を行う教室の設置 ※新たに天神小学校に開設	—

項目	事業概要	事業費 (人件費を除く)
⑦ その他		
76 《新規》 こども家庭センターの開設	妊産婦・子育て世帯・こどもへの一体的相談支援体制を整備	—
77 生涯学習センター(きらん)運営	屋内のこどもの遊び場充実と多世代交流の場の提供	6,160 万円
78 こどもの公共施設使用料の原則無料化	市内居住の中学生以下の公共施設使用料を原則無料化	歳入 △ 383 万円
79 ひとり親家庭就業・自立支援センター事業	ひとり親家庭等の就業・技能習得等にかかわる相談支援	200 万円
80 こどもショートステイ	保護者の病気や出産等の理由により、児童を家庭で養育することが困難な場合、施設において一時的な預かりなどの支援を行う	18 万円
81 出会いの場サポート事業	出会いや交流の機会を提供するイベント等を実施する企業・団体等への支援やマッチングアプリ運営会社との連携を通じ、新たな出会いのきっかけを創出	45 万円
82 子育てガイドブック・アプリ等活用による情報発信	子育て情報発信のためガイドブック発行のほかスマートフォン専用アプリ等を活用	—
83 どさんこ・子育て特典制度	子育て世帯に対し、小売店や飲食店などで特典サービスを提供 ※北海道が特典カードを発行	—
84 市営住宅入居公募抽選時における子育て世帯の優遇	抽選回数を一般世帯より増やし、子育て世帯を優遇	—
85 <<新規:R5補正〜>> こども未来づくり基金の活用	・保育料軽減の拡大、第3子以降の学校給食費無償化、子ども医療費助成の拡大、室蘭ふるさと学習推進事業等に活用 ※R6活用額:1億385万円	—
86 森林環境譲与税基金の活用	森林環境譲与税基金を活用し、八丁平北公園に木製遊具を整備	1,100 万円